

# 「福祉用具サービス計画」 講師養成へ

福祉用具サービス計画作成のためのスーパーバイザー養成を全国福祉用具専門相談員協会（略称「ふくせん」、岩元文雄理事長・カクイックスウィング社長）が始める。ふくせんが養成する講師は、専門相談員の資質向上を目的にカリキュラム見直しと研修時間増が行われる福祉用具専門相談員指定講習の中で、主に「福祉用具サービス計画」の講義を担当する者。

ふくせんは今年度に検討

委員会を立ち上げ、養成対象者の検討や研修プログラムの開発を行う。10年度にリーダー養成研修をスタート

とさせたが、サービス計画の義務化などを踏まえて見直し。早ければ、今秋にも、東

京と大阪の2カ所で養成研修を行う意向。今年度、会員の拡大をめぐり、研修会の充実を図る。メーカーと連携したサービス計画作成研修会の開催や、現在31県に設置されたブロックごとの各種

研修も行う。

また、13年度の老人保健研究増進事業において、ふくせんが開発するサービス計画作成のためのガイドラインに関して、テキストづくりや利用者向けのサービス計画書リーフレット作成を行う計画。